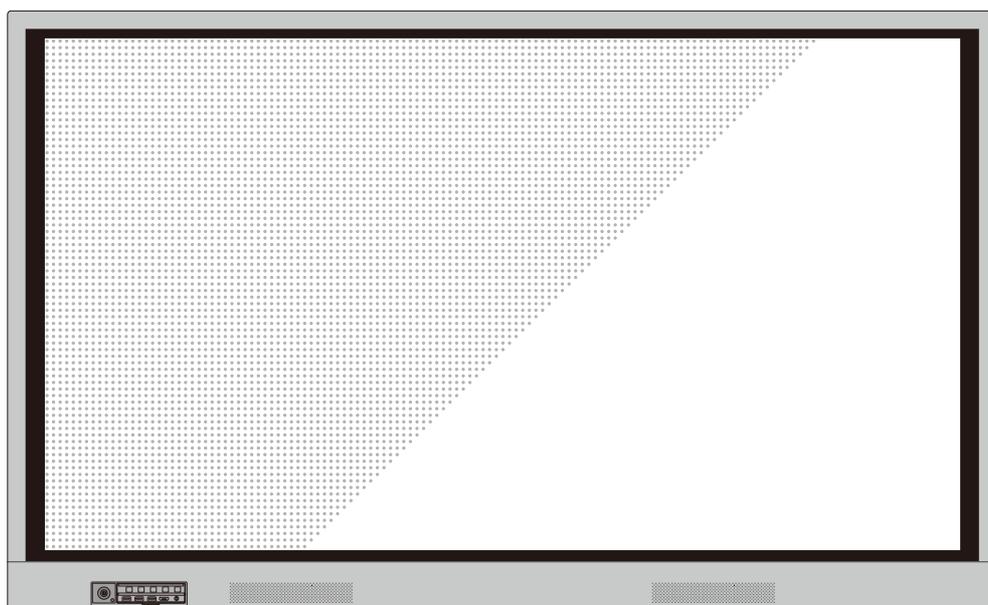


newline



LED インタラクティブ  
タッチスクリーン **RS**シリーズ

クイックガイド

V 1.1



# 目次

---

本書に関して.....	5
ご使用の前に.....	6
<b>1 本製品に関して.....</b>	<b>10</b>
1.1 はじめに.....	10
1.2 各部名称.....	10
1.3 入出力ポート.....	12
1.4 リモートコントロール.....	16
<b>2 製品の設置に関する注意.....</b>	<b>18</b>
2.1 安全に関する注意.....	18
2.2 設置に関する注意.....	19
2.3 設置.....	20
2.4 内蔵パソコン（オプション）のインストール.....	21
2.5 Newline Assistant のインストール.....	23
<b>3 電源を入れる／切る.....</b>	<b>24</b>
3.1 電源を入れる.....	24
3.2 電源を切る.....	25
<b>4 タッチスクリーンの操作.....</b>	<b>26</b>
4.1 スタート画面.....	26
4.2 ホーム画面.....	26
<b>5 ショートカットの追加.....</b>	<b>31</b>
5.1 ショートカットの追加.....	31
5.1.1 ホーム画面へのショートカットの追加.....	31
5.1.2 Windows ソフトウェアのショートカットの追加.....	33
<b>6 クイック設定メニュー.....</b>	<b>36</b>
<b>7 最新の情報に関しては.....</b>	<b>38</b>

LED インタラクティブタッチスクリーンRSシリーズをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご利用の前に本書を必ずお読みください。

また、本誌は大切に保管をしてください。

---

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE 1: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTE 2: Any changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

---

右側のシンボルは本製品を家庭ごみとして廃棄してはならないことを示します。本製品を製品寿命などで廃棄する時には、リサイクルに関する法律や条例に従ってください。電気機器や電子機器を廃棄する際は、自治体が指定した場所と方法に基づきリサイクルしてください。



# 本書に関して

---

本書は製品に関する様々な機能の紹介、注意事項、インストラクションなどを含んでおります。

特に注意が必要な箇所は記号とともに記されております。

各記号は下記を表しております。:

 <b>NOTE</b>	メインの文章に追加して、操作に関する追加情報が示されています。
 <b>TIP</b>	操作のヒントが示されています。
 <b>CAUTION</b>	誤った方法で操作をおこなった場合に、機器の破損やデータの損失、パフォーマンスの低下など、予期せぬ結果を招く恐れがある注意すべき事項が示されています。
 <b>WARNING</b>	誤った方法で操作をおこなった場合に、死亡事故や怪我などを招く恐れがある注意すべき事項が示されています。

## ご使用前に

製品を安全にご使用頂くために、ご使用前に下記のインストラクションをご確認ください。誤った製品の使用方法は怪我、事故の元になります。感電を避けるためにむやみに分解しないでください。必ず認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。

 <b>WARNING</b>	
	<p><b>重大な症状が見られた際には必ず本製品の電源を抜いてください。</b> 重大な症状には下記が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 発煙、焦げたような匂い、異音などが本製品から発生している。</li><li>• 画面が映らない、音が出ない、画面にエラーが生じている。</li></ul> <p>上記の症状が見られた場合には、製品の使用を直ちに中止し、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。</p>
	<p><b>液体や金属、可燃物を本製品内部に入れないでください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• もし、液体や金属などが入ってしまった場合、直ちに電源を切り、コンセントからケーブルを抜き、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。</li><li>• 製品の使用時に周りに小さな子供がいないか注意してください。</li></ul> <p><b>製品を安定した平らな場所に設置してください。</b> 傾斜面、ぐらぐらしたスタンドや机の上など、不安定な場所への設置は製品が倒れるなどして、事故や故障の元となります。</p>
	<p><b>本製品のパネルを分解したり、改造しないでください。</b></p> <p>製品には高電圧部品が組み込まれています。感電の危険がありますので、本製品の検査やメンテナンスが必要な場合は、必ずサービス担当者にコンタクトしてください。</p>
	<p><b>本製品に付属している電源ケーブルを必ずご使用ください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。</li><li>• 必ずアース接続をおこなってください。</li><li>• 長時間にわたり使用しない場合、本製品の電源を抜いてください。</li></ul> <p><b>定期的に電源プラグをクリーニングしてください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• クリーニングの際には必ず電源を切っておこなってください。</li><li>• クリーニングの際には必ず本体の電源ケーブルを抜き、乾いた布でおこなってください。</li></ul>



## WARNING

	<p>背面の電源ポートの定格出力は 5V/2A です。このポートは Newline 製 Android ボックス X10D 専用です。その他の機器を接続しないでください。製品の破損や火事の原因となります。</p> <p>(※2019 年 4 月現在 X10D は日本国内未発売です)</p>
	<p><b>製品の上に物を置かないでください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 製品の上に、液体を含む容器などを置かないでください。</li><li>• 本製品に液体が入ってしまった場合、製品がショートし、火事や感電の原因となります。</li><li>• 本製品に乗ったり、物をかけないでください。</li></ul>
	<p><b>本製品を不適切な場所に設置しないでください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 浴室など高温多湿の場所、シャワールーム、また雨や雪、過酷な天候に晒される可能性のある窓際、室外などに設置しないでください。温泉などの蒸気が当たる場所に製品を設置しないでください。不適切な場所への設置は、極端な場合は感電や火事などの事故の元になります。</li><li>• 火元の近くに本製品を設置しないでください。また、キャンドルなど火のついた物を製品の近くに置かないでください。</li></ul>
	<p><b>雷の際には本製品をコンセントから外してください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 感電の原因になるため、雷が鳴っている時には本製品を触らないでください。</li><li>• 怪我の元になる高圧を伴う製品は、小さな子供が届かない場所に設置してください。</li></ul>
	<p>濡れた手で電源ケーブルを触らないでください。感電の原因となります。</p>



## CAUTION

	<p><b>本製品を高温の場所に設置しないでください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ラジエーター、蓄熱体、ストーブ、その他の暖房器具など、熱源の近くに本製品を設置しないでください。</li><li>• 直射日光が当たる場所へ本製品を設置しないでください。本製品が高温になり、故障の原因となります。</li></ul>
--	--



## CAUTION

	<p><b>輸送に際して:</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 本製品の輸送の際には移動性やメンテナンス性を考慮し、本製品が入っていたカートン及び緩衝材をご使用ください。</li><li>• 本製品を移動する際には必ず製品を垂直にして運んでください。間違った方向で運ぶと、タッチスクリーンやその他の部品の思わぬ故障の原因となります。</li><li>• 輸送の際には、ケーブル等の全ての接続や固定用金具を外してから運んでください。また、移動の際には周囲に衝突したり挟まらないよう、気を付けてください。特にスクリーン部分などは破損しやすく、破損の際にガラスなどが飛び散り思わぬ怪我等の原因となります。</li></ul>
	<p><b>本製品の通気部分を塞がないでください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 本製品に使用している部品が高温になり、火事や故障、製品寿命が短くなるなどの原因となります。</li><li>• 通気部分を下向きに塞いでに設置しないでください。</li><li>• カーペットやベットシートなどの上に製品を設置しないでください。</li><li>• テーブルクロスなどの布で本製品を覆わないでください。</li></ul>
	<p><b>ラジオや強い電磁波の発生する製品の近くで使用しないでください。</b></p> <p>本製品は国際 EMI 規格に基づき防磁処理が施されていますが、それでも干渉が存在し、無線ノイズを発する場合があります。ノイズが発生した際には下記をお試しください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 製品への干渉を防ぐため、無線のアンテナの方向を調整してください。</li><li>• 本製品から無線を離してご使用ください。</li></ul> <p><b>スクリーンのガラスが破損した場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 安全を確保するために、できるだけ 3m 以上の距離を確保して近づかないようにしてください。</li><li>• タッチスクリーンが破損したり外れた場合は、自分でスタンドから降ろしたり分解したりせず、必ず認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。</li></ul> <p><b>電池は正しくご使用ください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 誤った方法で電池を使用すると、液漏れ、腐食、火事などの原因となります。</li><li>• 必ず指定された種類の電池をご使用の上、正しい方向（極性）に入れてください。</li><li>• 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。</li><li>• 長期間にわたり使用しない場合、電池をリモコンから取り外してください。</li><li>• 直射日光の当たる場所や日の近くなど、高熱の場所に電池を放置しないでください。</li><li>• 地方の条例等に従い電池を廃棄してください。</li></ul> <p><b>電源ケーブルにダメージを与えないでください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 電源ケーブルを傷つけたり、変更したり、ねじったり、曲げたり、過度な力で引っ張らないでください。</li><li>• 電源ケーブルに製品本体など重いものを載せないでください。</li></ul>



## CAUTION

- 電源ケーブルを取り外す際に、過度な力で引っ張らないでください。もし、電源ケーブルにダメージがある場合には、製品の使用を直ちに中止して、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトして修理または交換を依頼してください。
- 付属品ボックス内の電源ケーブルは本製品専用です。他の製品では使用しないでください。

### ご使用の際に

- 目の保護のために、明るい場所で本製品をご使用ください。暗い場所や極端に明るい場所は目を傷める恐れがあります。
- 長時間のご使用の後には目を休めてください。
- 画面を見る際には、目の保護のために十分な距離をあけてください。
- 特に夜間のご使用などには音量にご注意ください。
- 音声入力源として外部機器を使用する場合はご注意ください。外部機器の音声出力用としてご使用の際には、外部機器からの音声入力が内蔵スピーカーの最大出力を上回らないようにご注意ください。スピーカーの過負荷および故障などの原因となります。

### USB ポートに関して

前面のマークのついた USB ポートおよび、背面の USB 3.0/USB 2.0 ポートは、表示している信号源により接続が変わります。USB ポートに接続された外部機器を信号源として使用中の場合、使用を終了するまで信号源を変更しないでください。データの読み取りや書き込みの途中で信号源を変更した場合、データや製品の破損の原因となります。

# 1 本製品に関して

## 1.1 はじめに

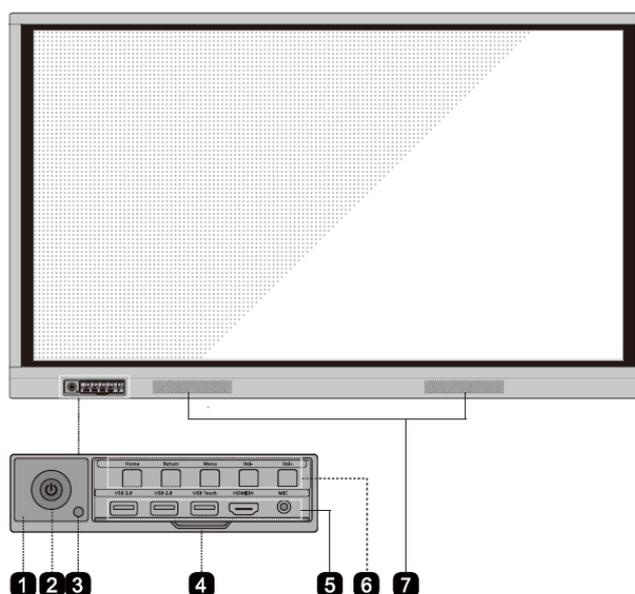
Newline Interactive 製タッチスクリーンをお買い上げ頂きましてありがとうございます。本製品はインタラクティブな教育やデモンストレーション、マルチメディアを使用したプレゼンテーションなど様々な用途にご使用いただけるタッチスクリーンです。指やペンなどを使用して、手書き入力を行うことができ、スクリーン上のあらゆるものの編集などを行うことができます。

本製品の特長：

- 4K高解像度
- 用途に応じてカスタマイズ可能なインターフェイス
- ケーブル接続やワイヤレスでの接続など、パソコンやスマートフォンなど様々な機器との接続が可能
- ペンで紙に書いているような感覚で、画面への書き込みが可能

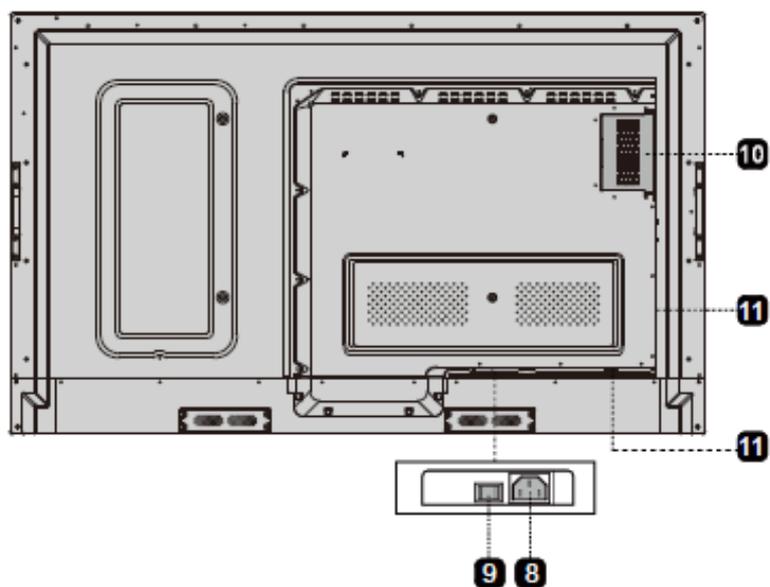
## 1.2 各部名称

- 前面

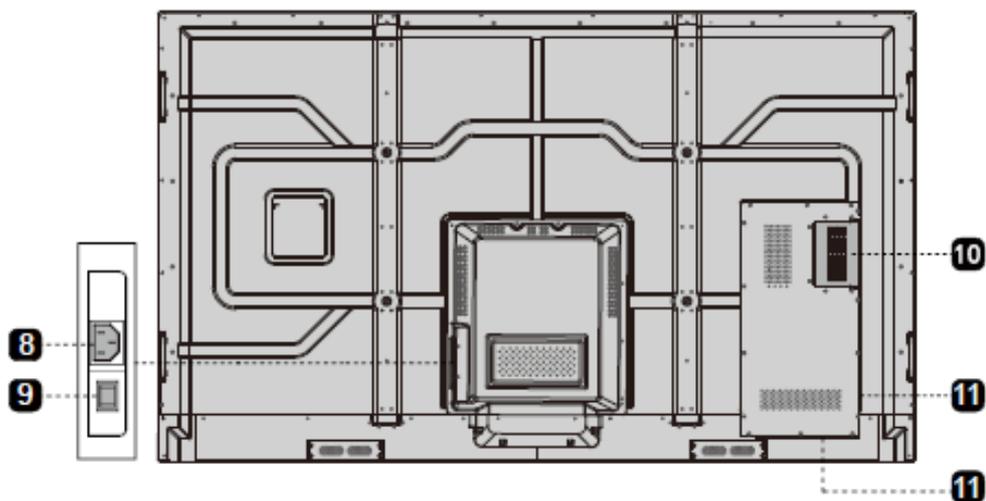


- 背面

<TT-6518RS>



<TT-7518RS/TT-8618RS>



1	リモコン信号受光部	7	スピーカー
2	電源オン/オフ	8	電源プラグ
3	光センサー	9	主電源スイッチ
4	前面ポートのカバー	10	内蔵 PC 用スロット (OPS)
5	前面ポート	11	背面ポート
6	前面ボタン		

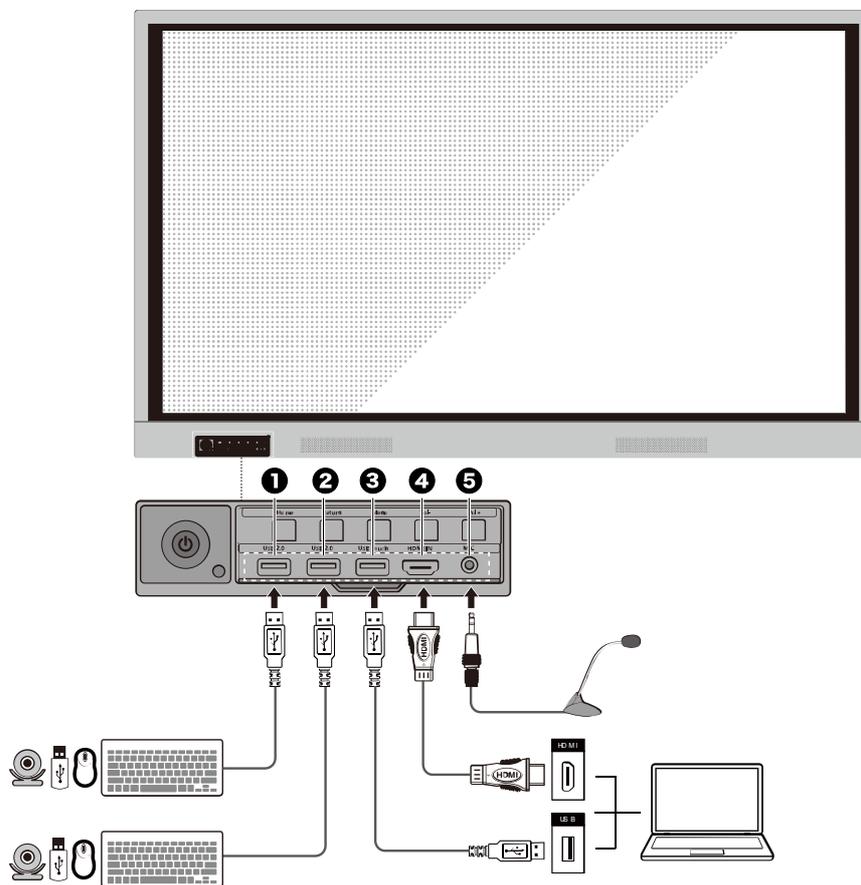
## 1.3 入出力ポート



### CAUTION

前面の  マークのついた USB ポートおよび、背面の USB 3.0/USB 2.0 ポートは、表示している信号源により、接続が自動的に変わります。USB ポートに接続された USB フラッシュメモリーなどが選択されている信号源で使用中の場合、使用終了するまで信号源を変更しないでください。データの読み取りや書き込みの途中で信号源を変更した場合、データや製品の破損の原因となります。

- 前面



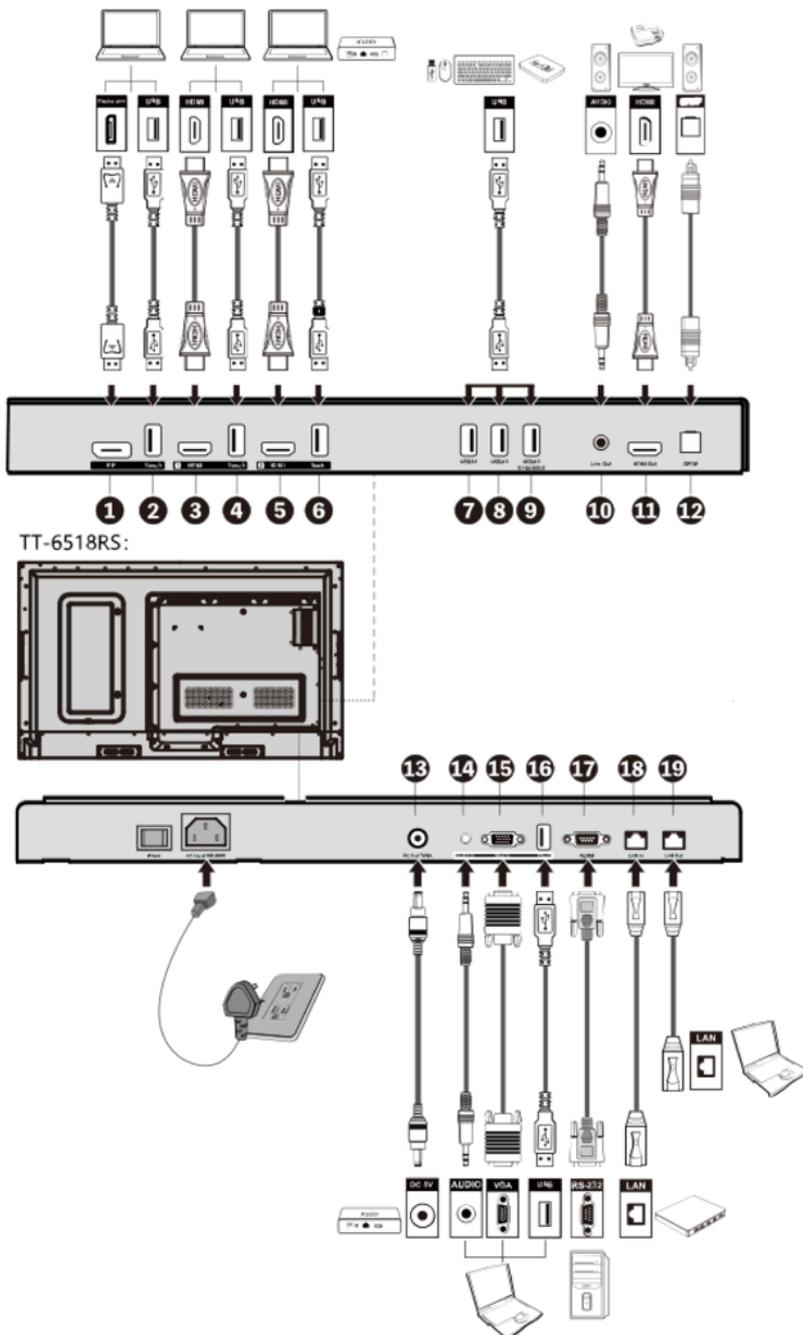
1	USB2.0	4	前面 HDMI (入力端子)
2	USB2.0	5	マイク入力端子
3	前面 HDM 用タッチポート		



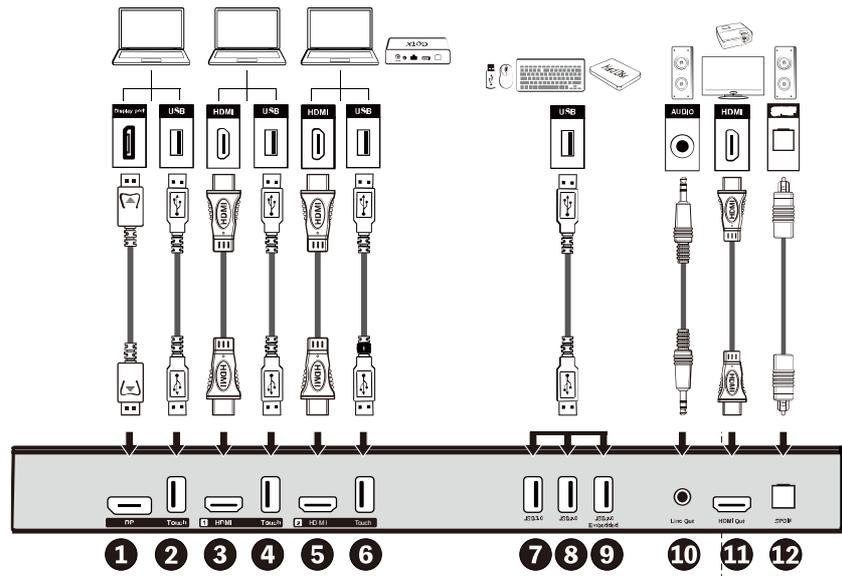
## WARNING

背面の電源ポートの定格出力は 5V/2A です。このポートは Newline 製 Android ボックス X10D 専用です。その他の機器を接続しないでください。製品の破損や火事の原因となります。(※2019年4月現在 X10D は日本国内未発売です)

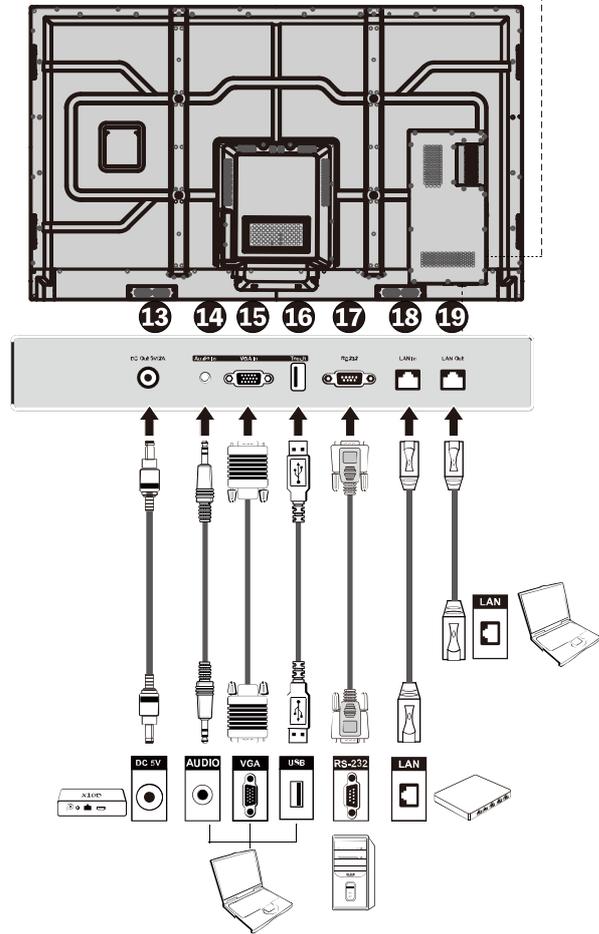
### ● 背面



1	DisplayPort (入力端子)
2	DisplayPort用USBタッチポート
3	HDMI1 (入力端子)
4	HDMI1用USBタッチポート
5	HDMI2 (入力端子)
6	HDMI2用USBタッチポート
7	USB3.0
8	USB2.0
9	スマートシステム専用USB2.0
10	Line Out端子
11	HDMI出力端子
12	SPDIF出力端子
13	X10 D専用電源出力端子 (5V/2A)
14	VGA用音声入力端子
15	VGA (入力端子)
16	VGA用USBタッチポート
17	RS232 (D-sub 9ピン)
18	LANポート In
19	LANポート Out



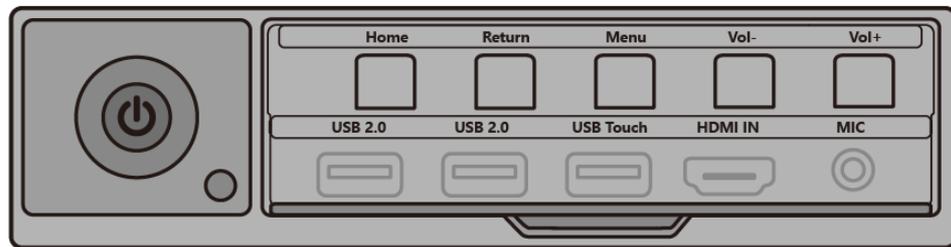
TT-7518RS/ TT-8618RS:



**TIP**

X10D は背面の HDMI2 ポートへの接続を推奨しております。  
 (※2019年4月現在 X10D は日本国内未発売です)

- 前面ボタン



ボタン	操作	機能
	短く押す	電源のオン/オフ <ul style="list-style-type: none"> <li>• 赤く点灯: シャットダウン状態</li> <li>• 青く点灯: オンの状態</li> </ul>
ホーム画面	短く押す	ホーム画面に戻る
戻る	短く押す	一つ前の画面に戻るか、終了
メニュー	短く押す	設定メニューを開く
	2 秒以上押し続ける	スクリーンをロックする
音量 -	短く押す	音量を 1 レベル下げる
	1 秒以上押し続ける	音量を下げ続ける
音量 +	短く押す	音量を 1 レベル上げる
	1 秒以上押し続ける	音量を上げ続ける

## 1.4 リモートコントロール



事故などの防止のために、下記の点をよくご確認の上、リモコンをご使用ください。:

- リモコンを落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をこぼさないでください。
- 濡れた表面にリモコンを置かないでください。
- 直射日光や、高温の場所に放置しないでください。

ボタン	操作
	電源オン/オフ
	ミュート/ミュートの解除
0-9	数字入力
	ホーム画面に戻る
	前に戻る/終了 (Exit)
	上下左右へのカーソルの移動
	決定/OK
	ホワイトボードモードへの切り替え
	スクリーンショットを撮る
	音声のみのモードを有効にする
	現在の画面でフリーズさせる
	音量を調整する
	画面の明るさを調整する
	信号源の切替ページへ移動する
	現在実行中のタスクを見る
	ファイルビューアーを開く



ボタン	操作
	全てのガジェットを見る
<b>PC</b>	内蔵 PC へ信号源を切り替える
<b>DP</b>	DisplayPort へ信号源を切り替える
前面 HDMI	前面 HDMI へ信号源を切り替える
HDMI 1	HDMI 1 へ信号源を切り替える
HDMI 2	HDMI 2 へ信号源を切り替える
VGA	VGA へ信号源を切り替える
	自動補正画面表示 (VGA 信号源のみ)
	ブラウザを開く
	タッチスクリーンのバックライトモードを切り替える
	スクリーンロック機能をオン/オフする
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メニューを開く (短く押す)</li> <li>• スクリーンロック (2 秒以上長く押し続ける)</li> </ul>
	システム設定を開く

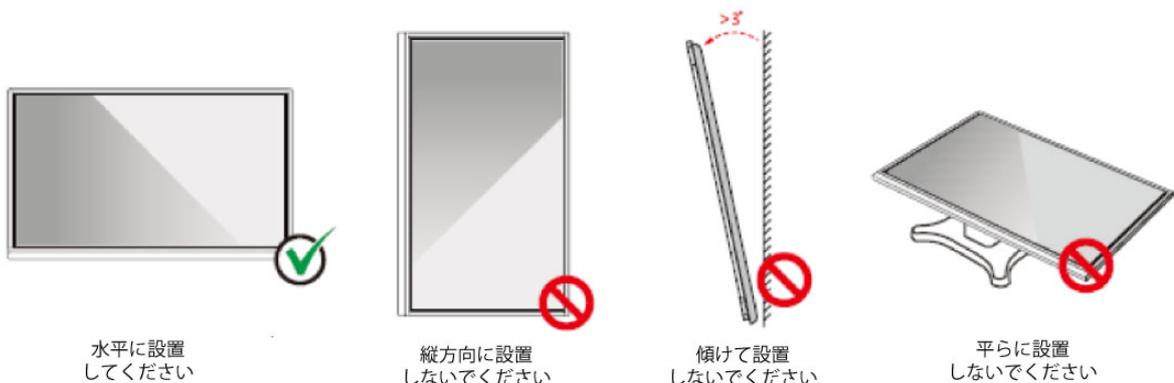
# 2 製品の設置に関する注意

## 2.1 安全に関する注意

### 設置環境に関する注意



### 設置方向



## 2.2 設置に関する注意

### 耐荷重

製品の重量はそれぞれ 73 kg (TT-8618RS)、56 kg (TT-7518RS)、44kg (TT-6518RS)です。

- 可動式のスタンドに設置する場合、スタンドの耐荷重が製品を上回っていることを事前にご確認ください。
- 壁掛けブラケットをご使用の場合、壁に十分な耐荷重があるか事前にご確認ください。補強され、製品の約 4 倍の耐荷重のある壁への設置を推奨しております。詳しくは、壁掛けの設置業者へご確認ください。
- ドアなどの障害物がぶつかる可能性がある場所へ設置しないでください。

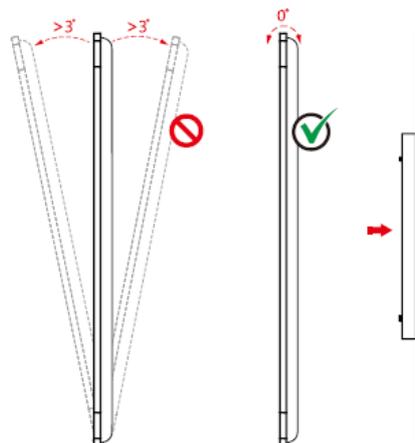
●  **NOTE**

万一壁掛けブラケットやスタンドなどへの設置に関する事故が発生した場合、当社はいかなる責任や補償を負いません。

●

### 前後の設置角度に関して

設置時に、製品を垂直に設置するようにしてください。前後への傾きの上限は各 3° までとなっております。上限を超えた傾き角度での設置は、ガラス部品の脱落や破損などの原因となり、大変危険です。

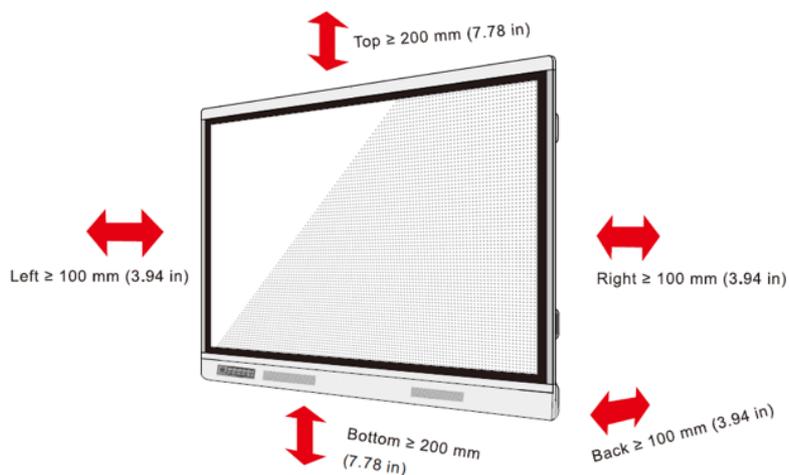


 **NOTE**

問題が発生した場合は、当社のサポートデスクへお問い合わせください。当社はインストラクションを守らずに発生した事故や損害に関して、いかなる責任や補償を負いません。

## ベンチレーション

通気や空調が十分にされる場所へ設置してください。設置場所の壁などとの間に十分な距離を保つことを推奨いたします。図に示したスペースが空いていることをご確認ください。



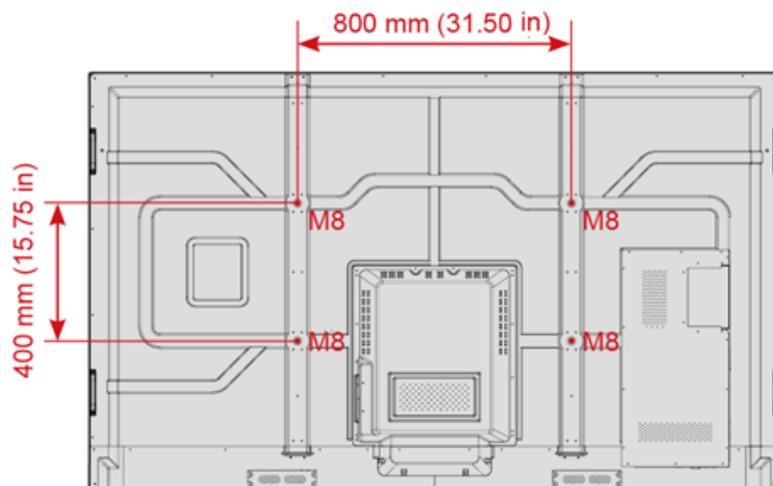
## 2.3 設置

背面の4つのマウント取り付け穴は VESA MIS-F に準拠しており、それぞれ TT-8618RS および TT-7518RS は 800 x 400 mm、TT-6518RS は 600 x 400 mm 長さ 10mm~15mm の M8 のネジにてタッチスクリーンをマウントにしっかりと固定してください。背面の各部寸法は下図の通りとなっております。

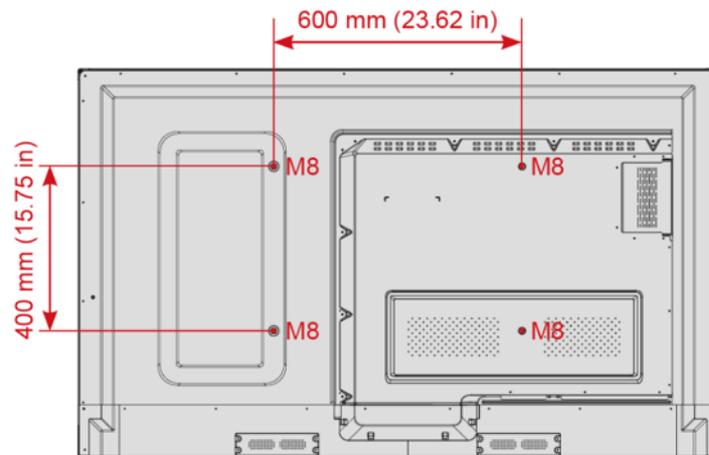
### NOTE

取り付けは必ず専門業者で行ってください。

- <TT-7518RS/TT-8618RS>



<TT-6518RS>



## 2.4 内蔵パソコン（オプション）のインストール



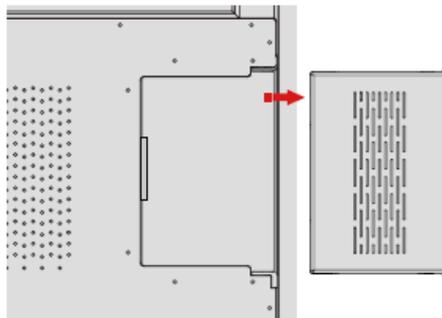
### CAUTION

内蔵パソコン（OPS）はホットプラグには対応していません。タッチスクリーン本体の電源が完全にオフになっている状態で内蔵パソコンを接続または取り外してください。

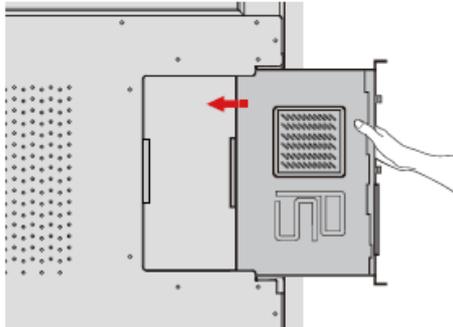
---

内蔵 PC は別売りです。以下のステップにて内蔵パソコンのインストールを行ってください。

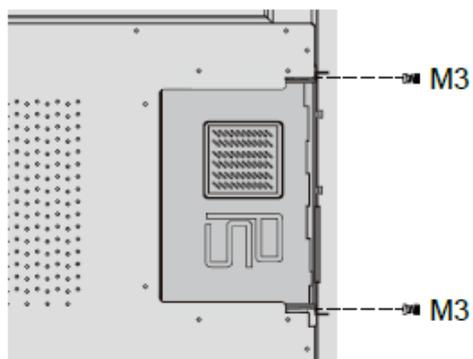
- Step 1** 本体背面側部にある内蔵 PC スロットの保護カバーを固定している M3 のネジを手で外してください。



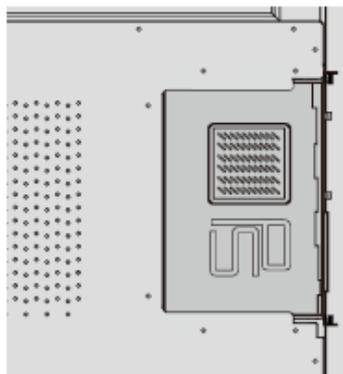
**Step 2** 内蔵 PC を内蔵 PC 用スロットへ挿入してください。



**Step 3** M3 ネジを使用して内蔵パソコンをタッチスクリーンに固定してください。



**Step 4** OPS にアンテナが付属している場合、アンテナを取り付けてください。アンテナ取り付け後、電源投入前に、再度取り付け状態を確認してください。



## 2.5 Newline Assistant のインストール

### はじめに

Newline Assistant はスマートシステムと内蔵 PC (OPS) をつなぐツールです。Windows のソフトウェアのショートカットをスマートシステムに登録したり、信号を変更する際に、USB ポートに接続されている USB フラッシュメモリーやカメラなどを保護するなどの機能を持っています。そのため、本製品をご使用する際には内蔵パソコンへ Newline Assistant のインストールを事前に行うことを推奨しております。

#### <インストール手順>

- Step 1 OPS (内蔵パソコン) のインストールの項を参考に内蔵 PC を正しく接続します。
- Step 2 ホーム画面にて、Windows をクリックします。信号源を内蔵 PC に切り替えます。
- Step 3 [www.newline-interactive.com/ja](http://www.newline-interactive.com/ja) にアクセスし、製品>ソフトウェアとアクセスし、Newline Assistant をダウンロードします。
- Step 4 ダウンロード後にインストラクションに従い Newline Assistant をインストールします。

# 3 電源を入れる／切る

## 3.1 電源を入れる

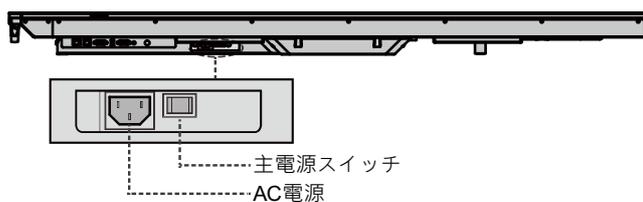
Step 1 100V 50/60Hz の AC 電源に本製品を接続してください。プラグをしっかりと根元まで挿入し、必ずアース接続をおこなってください。

 **NOTE**

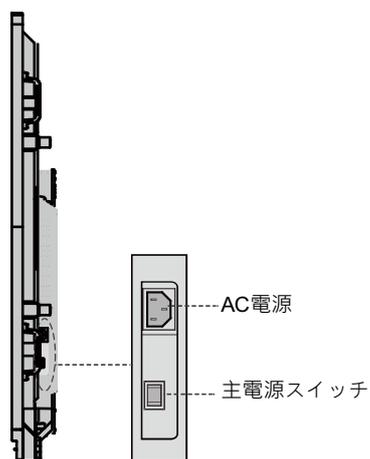
機器の近くにあるコンセントに接続してください。

Step 2 下図が示す AC 電源の隣にある主電源スイッチを入れて電源をオンにしてください。

TT-6518RS



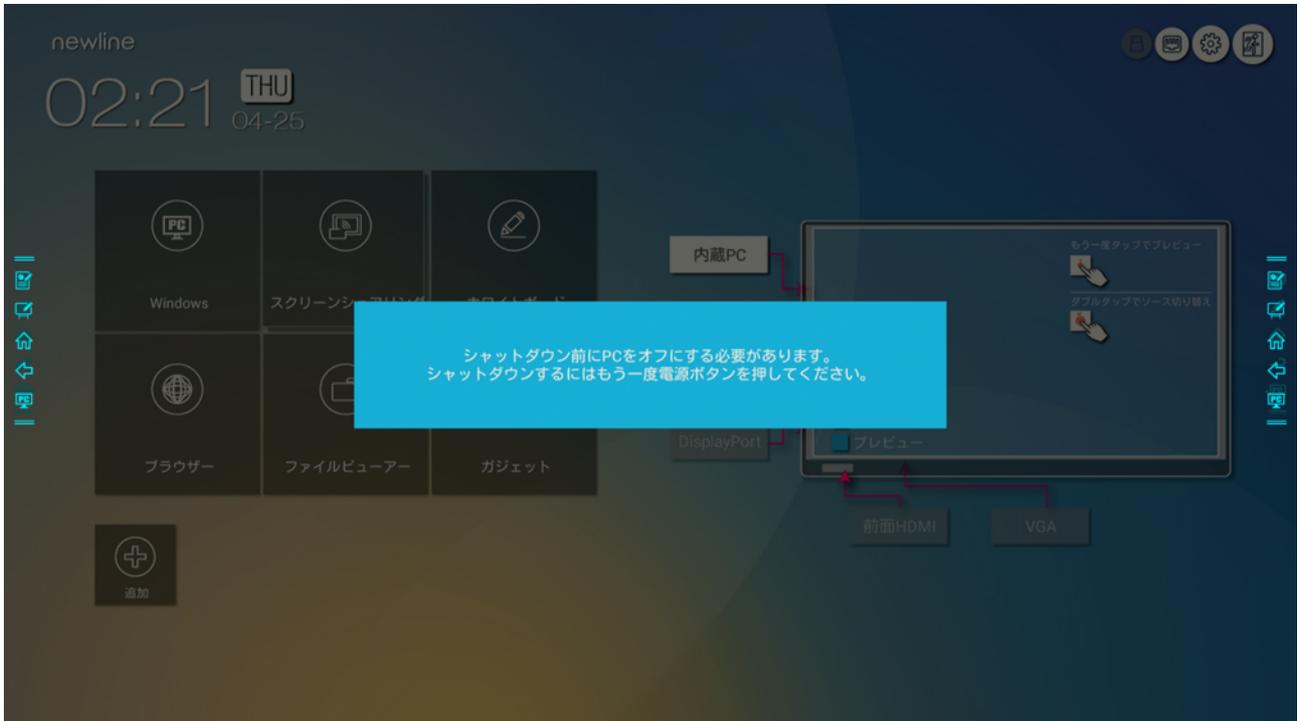
TT-7518RS/T T-8618RS:



Step 3 フロントの電源ボタン  またはリモコンの電源ボタン  を押してください。

## 3.2 電源を切る

**Step 1** フロントの電源ボタン  またはリモコンの電源ボタン  を押してください。下図のように表示されます。



**Step 2** フロントの電源ボタン  またはリモコンの電源ボタン  を再度押してください。電源インジケータが赤色に点灯します。

**Step 3** 長期間機器を使用しない場合、主電源をオフにすることを推奨しております。

### NOTE

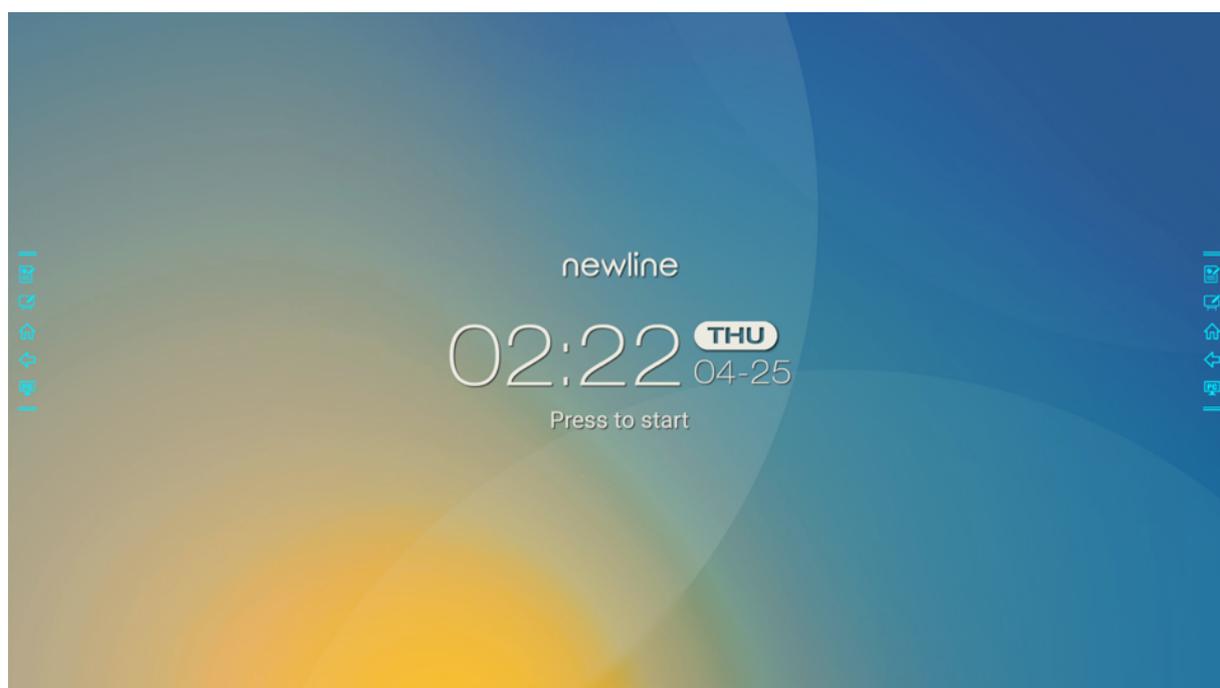
- 内蔵 PC が搭載されている場合、タッチスクリーンの電源を切ると、内蔵 PC の電源も同期して切れます。
- 内蔵 PC の電源がオンになっている時に、タッチスクリーンの電源をむやみに切らないでください。

# 4 タッチスクリーンの操作

---

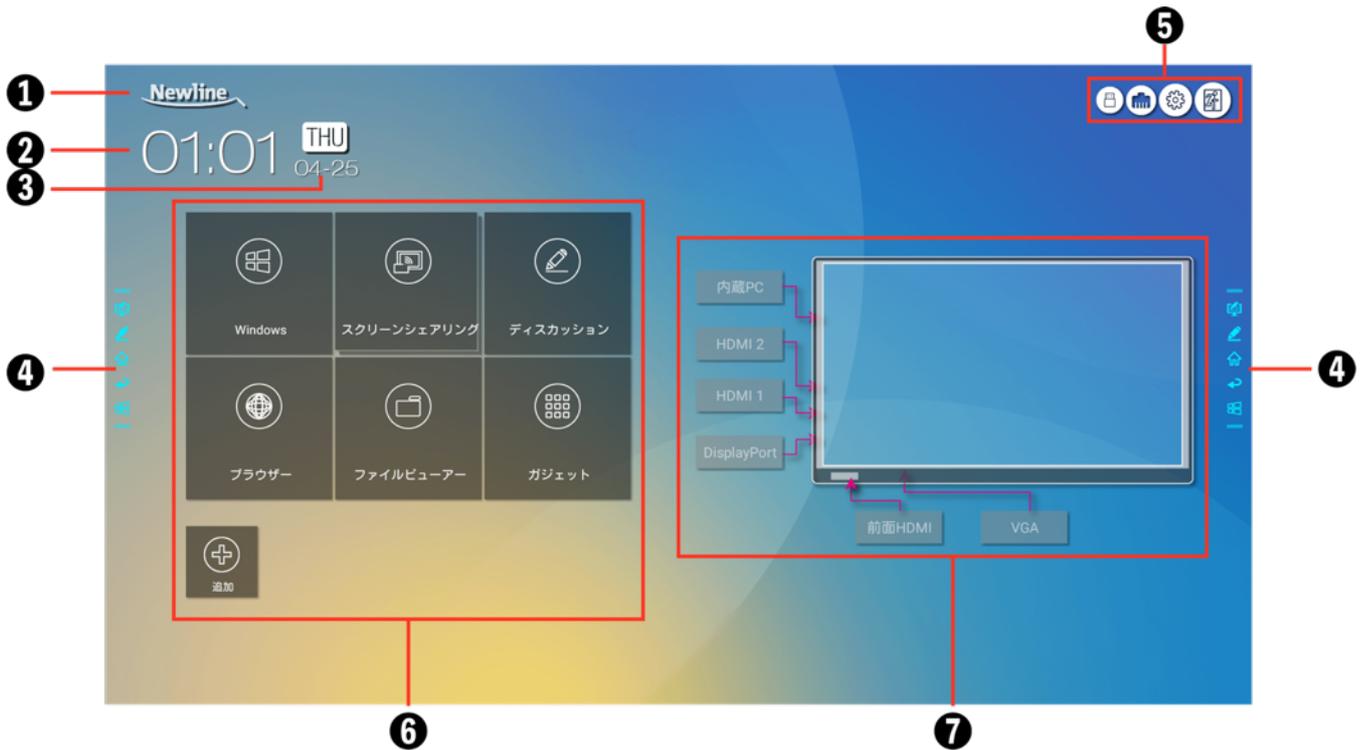
## 4.1 スタート画面

電源の投入後に下図の示す通り、スタート画面が表示されます。



## 4.2 ホーム画面

スタート画面でスクリーンをタップすると、下図のホーム画面に移行します。



1	ロゴ（壁紙設定のショートカット	5	インジケータ
2	時刻（クロックへのショートカット）	6	メインツールバー
3	日付/曜日	7	入力信号源プレビュー画面
4	サイドツールバー		

## メインアイコン

アイコン	機能
	内蔵パソコンへ信号源を切り替えます。
	「スクリーンシェアリング」をクリックすると、ワイヤレス画面投影アプリが起動します。
	接続をクリックすると、内蔵 PC、HDMI 1、HDMI 2、DisplayPort、前面 HDMI、VGA などの信号源のプレビュー画面を確認したり、画面を外部信号源に切り替えたりすることができます。
	ホワイトボード機能とスクリーンへの手書き挿入モードを起動します。

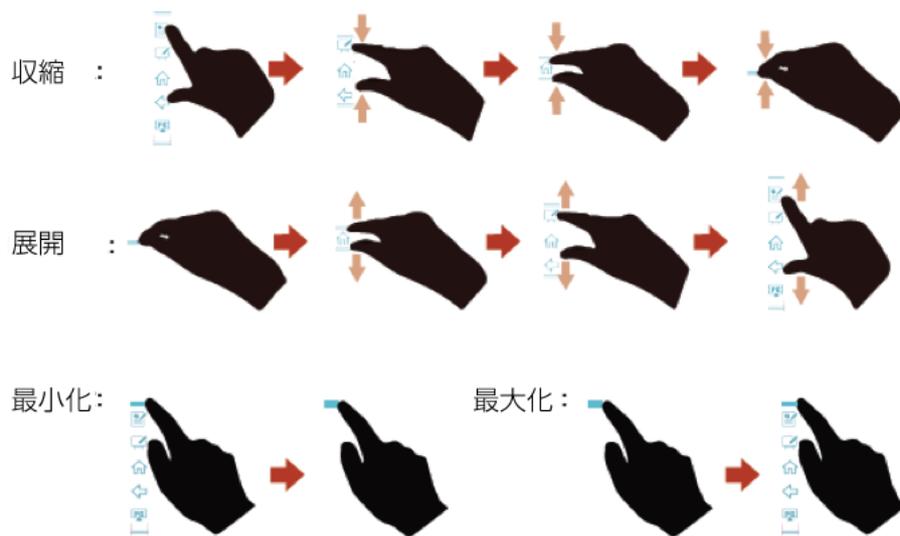
アイコン	機能
	クリックすると内蔵ブラウザが起動します。
	ファイルビューアーが起動し、接続した USB フラッシュ内のデータなどを閲覧することができます。
	Office viewer や Email、カレンダーや計算機などインストールされているアプリの一覧を閲覧することができます。一覧からアプリをクリックして起動することができます。
	クイックショートカットの追加と削除のページに移行し、最大 5 つまでお気に入りの外部信号源や Windows ソフトウェア、ガジェットのクイックショートカットをホーム画面に追加することができます。

 **NOTE**

- ミーティング終了後にメモを USB フラッシュメモリへ保存できない場合、16 GB 以下の容量のフラッシュメモリを使用し、ファイルシステムを FAT 32 フォーマットへ変更してください。

## サイドツールバー

初期設定では手書きデータ挿入モード/ディスカッションモード（ホワイトボード）/ホーム/戻る/Windows のアイコンが画面左右に設置されています。また、設定画面でツールバーの片方または両方を非表示にしたり、上下に動かしたり、ジェスチャーで伸縮が可能です。“=” 部分のダブルクリックで、ツールバーの最小化/最大化を行うことができます。また、一番下のアイコンを長押しすることで、その他のオプションを表示することができます。



サイドツールバーアイコン機能説明:

アイコン	機能
	手書き挿入モードを開始/終了します。終了時には自動的にスクリーンショットを撮影します。
	ディスカッションモード（ホワイトボード）を開始します。
	ホーム画面に戻ります。
	一つ前の画面に戻るか、アプリを終了します。
	内蔵 PC（OPS）に移動します。
	アプリケーションの切り替えを行います。 アプリケーションを左右にスワイプするか、上右隅の“x” をクリックすると、そのアプリケーションを終了することができます。
	設定した信号源（コネクション）に移動します。システム設定の「ツールバー」メニューにて信号源を設定できます。

## ステータスバーと設定

ホーム画面右上部分には各種状態を示すインジケータとショートカットがあります。

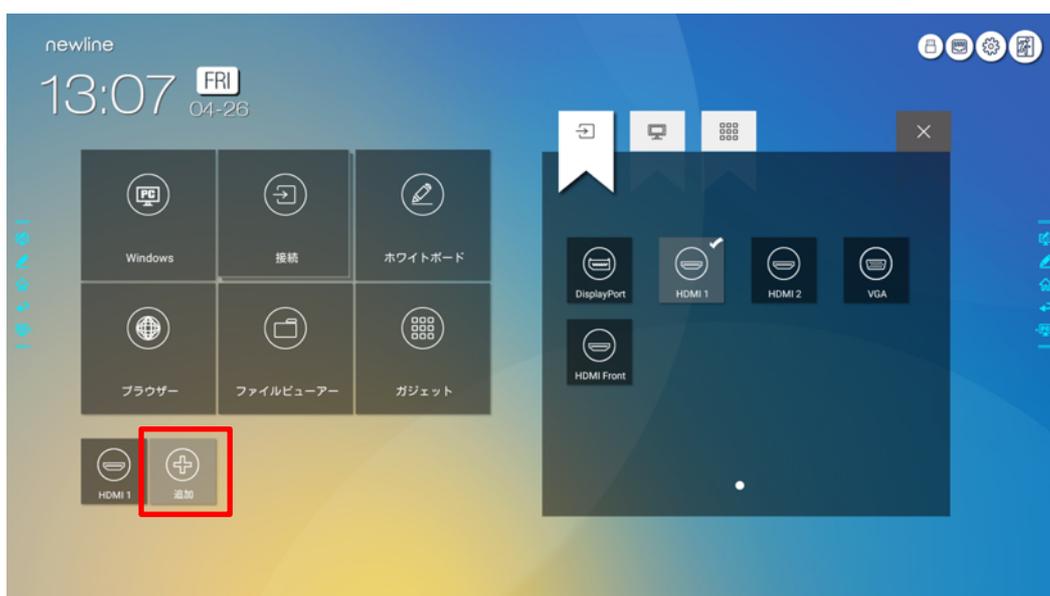
アイコン	機能
	USB フラッシュメモリーが USB ポートに接続されていると、このアイコンが点灯します。
	タッチスクリーンがイーサネットに接続されていると、このアイコンが点灯します。
	タッチスクリーンが Wi-Fi ネットワークに接続されていると、このアイコンが点灯します。
	クリックすると、各種設定画面に移行します。
	スタート画面へ戻ります。

# 5 ショートカットの追加

## 5.1 ショートカットの追加

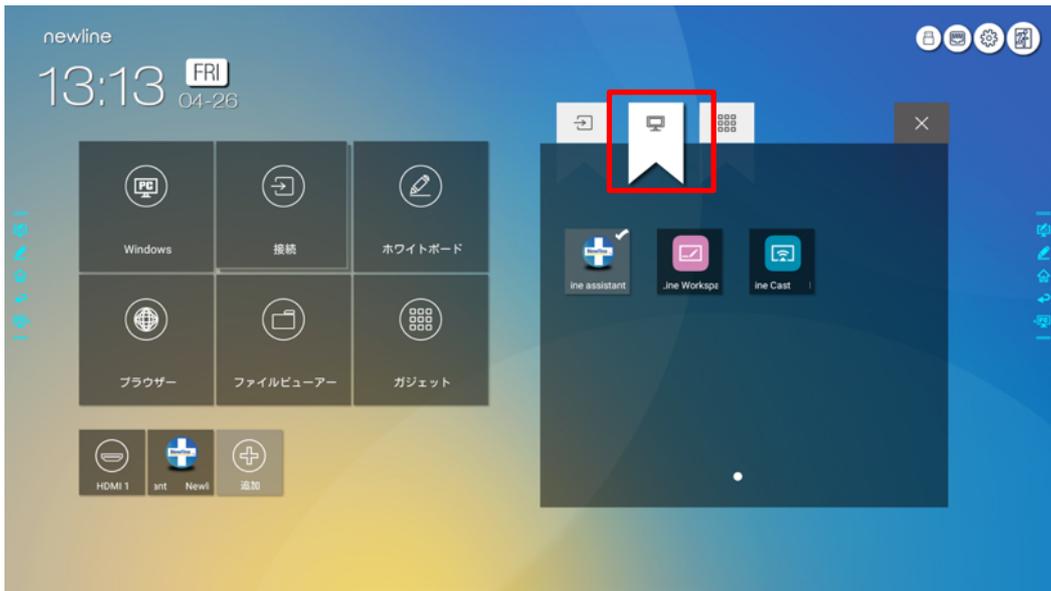
### 5.1.1 ホーム画面へのショートカットの追加

Step 1 ホーム画面右下のアイコン  をクリックしてショートカット追加の画面に移動します。

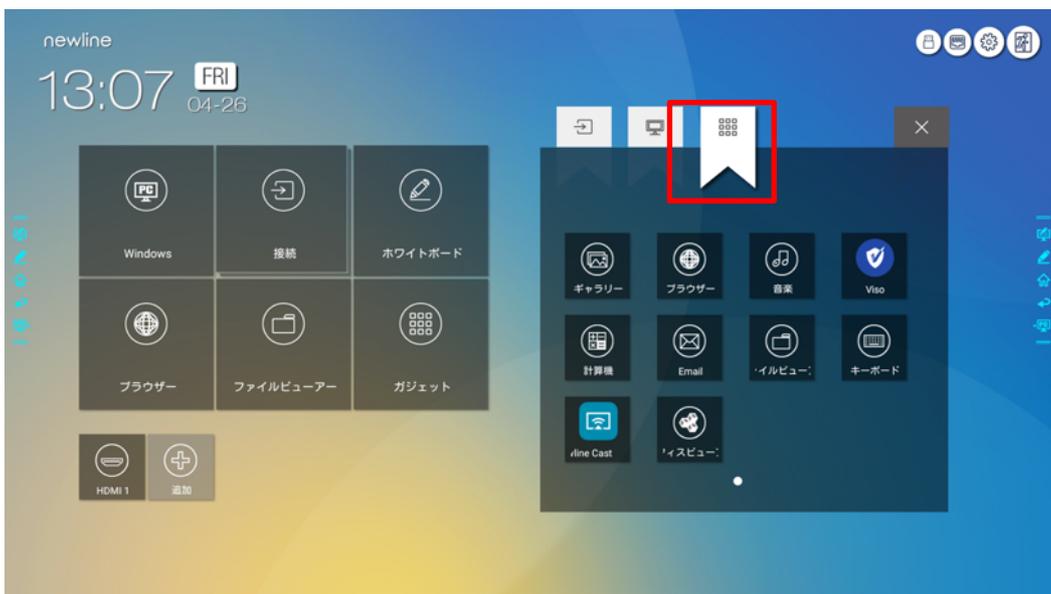


Step 2 画面上部のアイコンをクリックすると、Windows ソフトウェア、外部入力信号源、ガジェットそれぞれのリスト間で切り替えを行うことができます。

-  をクリックすると、上図のように外部入力信号源の一覧が表示されます。
-  をクリックすると、Newline Assistant を使用してスマートシステムに追加した Windows ソフトウェア一覧が表示されます。詳細は“Windows ソフトウェアのショートカットの追加”をご参照ください。



-  をクリックすると、ガジェットの一覧が表示されます。



### Step 3 ショートカットの追加

- リスト上でアイコンをクリックすると、ホーム画面にショートカットが追加されます。選択されているアイコンの右上にチェックマークが追加されます。最大 5 個まで追加することができます。
- 選択されているアイコンを再度タップします。チェックアイコンが消え、ホーム画面上からショートカットを削除することができます。

- Step 4 ホーム画面上でショートカットアイコンをクリックすると、プログラムの起動や外部入力信号源へのスイッチを行うことができます。

## 5.1.2 Windows ソフトウェアのショートカットの追加

### はじめに

Newline Assistant はスマートシステムと内蔵 PC (OPS) をつなぐツールです。Windows のソフトウェアのショートカットをスマートシステムに登録したり、信号を変更する際に、USB ポートに接続されている USB フラッシュメモリーやカメラなどを保護するなどの機能を持っています。そのため、本製品をご使用する際には内蔵パソコンへ Newline Assistant のインストールを事前に行うことを推奨しております。

#### <インストール手順>

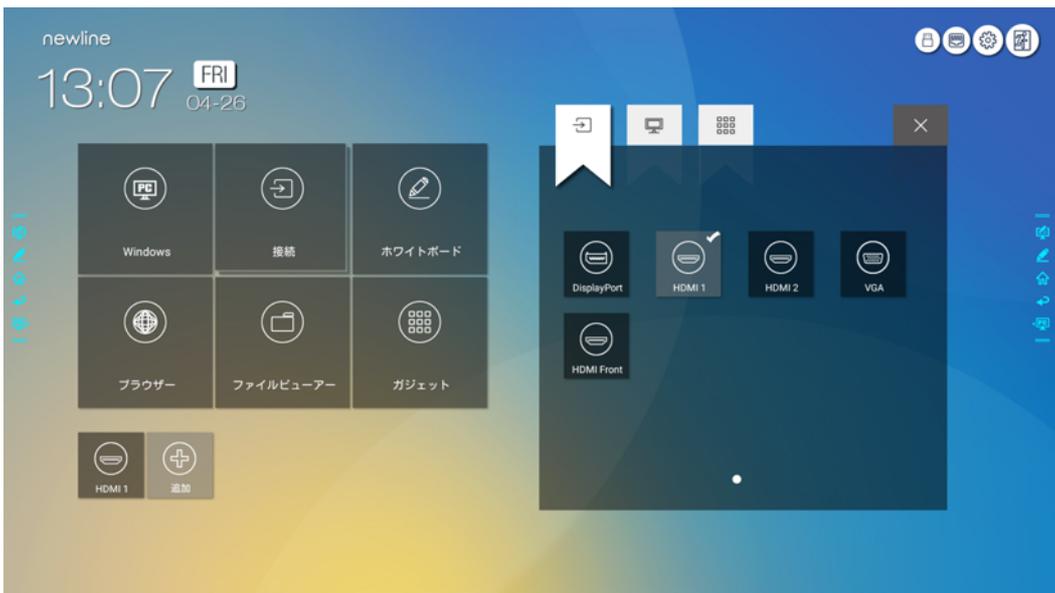
- Step 1 OPS (内蔵パソコン) のインストールの項を参考に内蔵 PC を正しく接続します。
- Step 2 ホーム画面にて、Windows をクリックします。信号源を内蔵 PC に切り替えます。
- Step 3 [www.newline-interactive.com/ja](http://www.newline-interactive.com/ja) にアクセスし、製品>ソフトウェアとアクセスし、Newline Assistant をダウンロードします。
- Step 4 ダウンロード後にインストラクションに従い Newline Assistant をインストールします。
- Step 5 Newline Assistant を起動し、デスクトップ上のソフトウェアアイコンや、フォルダーアイコンをドラッグ&ドロップして Newline Assistant のウィンドウに追加します。Windows を通じて追加または削除されたアプリは自動的にスマートシステムと同期作業を開始し、アップロードのステータス表示が 100%になると選択したソフトウェアが追加/削除されます。もし、自動的に同期されない場合、Newline Assistant ウィンドウの右上にある  アイコンをクリックし、手動で同期作業を開始してください。

#### TIP

\*.exe ファイルおよびフォルダーのみ対応しています。



Step 6  をクリックしてホーム画面に戻ります。 をクリックしてショートカット設定画面に移動します。



Step 7 ショートカット設定画面の  アイコンをクリックして、Step 5 で追加した Windows のプログラムを表示させます。



 **NOTE**

初期設定で  のタブに *Newline Assistant* が含まれています。

- Step 8** アイコンをタップするとホーム画面にショートカットが追加されます。再度タップすると削除されます。
- Step 9** ホーム画面に戻ります。追加した Windows アプリのアイコンをクリックするとソフトウェアが起動します。

# 6 クイック設定メニュー

2本の指をそれぞれから少し離れた状態で、画面の下限部分から上にスワイプすると、クイック設定メニューが下図の通り現れます。



アイコン	機能
	スライダーを操作し、明るさの調整
	スライダーを操作し、スピーカーからの音量の調整
	ホーム画面へ移動
	設定ページへ移動
	スマートシステム Wi-Fi のオン/オフ

アイコン	機能
	マイクروفオンのミュート/ミュート解除
	ビープ音のミュート/ミュート解除
	クリックして音声のみのモードへ切り替えます。
	左側ツールバーのオン/オフ
	右側ツールバーのオン/オフ
	ブルーライトフィルターのオン/オフ

# 7 最新の情報に関しては

---

## 最新の情報に関して

さらに詳しい取扱説明書や、Newline 製のその他の製品に関する情報や、最新の情報に関しては、ウェブサイト([www.newline-interactive.com](http://www.newline-interactive.com))をご確認ください。

## 製品サポートに関して

[support@newline-interactive.com](mailto:support@newline-interactive.com) までご連絡ください。

当社は製品改良と技術開発を継続して行っているため、製品の仕様や外観は予告なしに変更される場合があります。本書中のイラストは使用方法の説明のためのもので、製品を正確に描写したイラストではありません。